



## 省エネのメリット

環境への対応は新たな設備投資や人材確保を必要とすることから、中小企業にとっては「環境はコストがかかる」「中小企業が考える領域ではない」「環境は儲けにならない」というイメージが浸透しているようです。

しかし、環境視点を経営に取り入れた改善を行うことにより、売上アップや競争力強化を達成した企業も数多く存在します。また、中小企業では経営と現場が非常に近いため、経営者が現場の状況を常に把握できる、経営の意思決定が早いといった強みがあります。省エネのメリットを理解し、自社にあった省エネ行動に取り組んでいきましょう。

### (1) 地球温暖化防止

IPCC 第5次報告書において、気候システムの温暖化には疑う余地がなく、世界の年平均気温は2100年に最大で4.8℃上昇するという予測が報告されました。

地球温暖化の大きな要因は二酸化炭素（CO2）排出量の増加とされています。日本の2013年度のエネルギー消費によるCO2排出量は、リーマンショック前の2007年度を超えて過去最高となりました。

群馬県では2011年度のエネルギー起源によるCO2排出量1,658万トンのうち、産業・業務部門からのCO2排出量は877万トン（全体の52.9%）、運輸部門からは481万トン（29.0%）と大きな割合を占めています。企業の省エネルギー対策は、CO2排出量に占める割合の高さから、地球温暖化防止への大きな効果が期待できます。

### (2) エネルギーコストの低減

省エネルギーにより電気料金、燃料料金、水道料金などの費用低減が期待出来ます。

《期待できる費用低減》

- ・電力消費量の低減→電力量料金の低減
- ・契約電力の引き下げ→電力基本料金の低減
- ・受電力率改善→電力基本料金の力率割引率改善
- ・燃料消費量の低減→燃料料金の低減
- ・上水・下水量の低減→上下水道料金の低減

省エネによる利益は微々たるものだと考えている方、省エネに取り組むより売上を伸ばすことに時間を使いたい方、省エネはお金がかかるだけで利益は出ないと考えている方もいるかもしれません。しかし、視点を変えて考えると、省エネは売上アップと同じ利益を期待できます。

※年商3億円、年間光熱費が年商の2%、利益率が年商の3%の企業の場合※

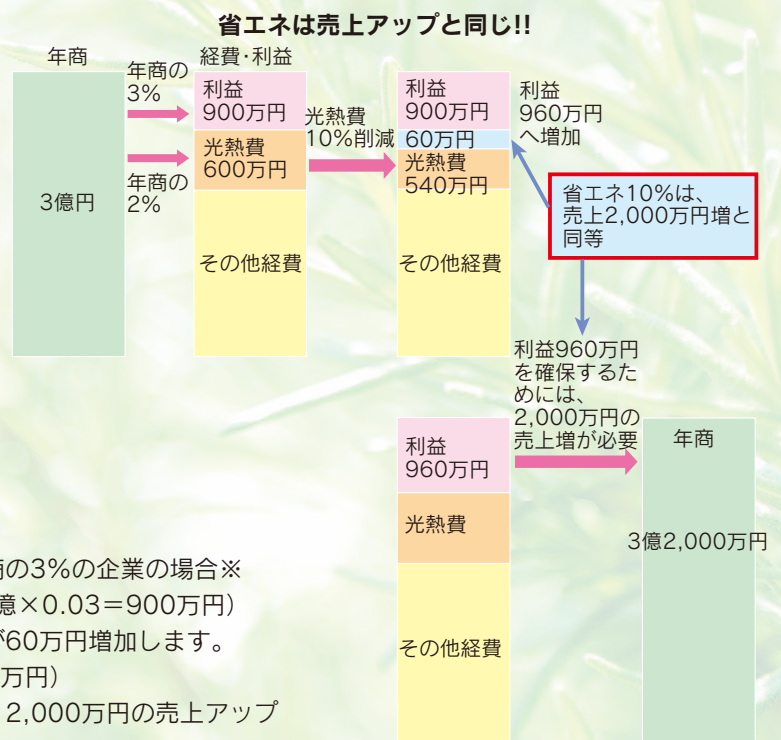
(光熱費：3億×0.02＝600万円 利益：3億×0.03＝900万円)

①省エネを行い、光熱費を10%削減できれば、利益が60万円増加します。

(削減した光熱費＝利益：600万円×0.1＝60万円)

②同社の売上を上げて60万円の利益を確保するには、2,000万円の売上アップが必要となります。

(60万円÷0.03＝2,000万円)

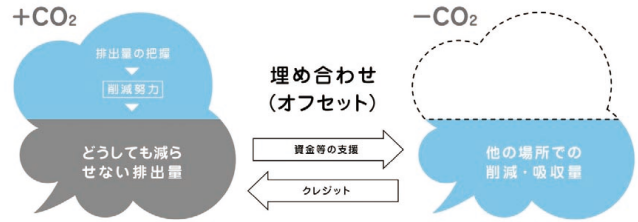


# カーボン・オフセット制度を利用して地球温暖化を防止しよう

## カーボン・オフセットとは？

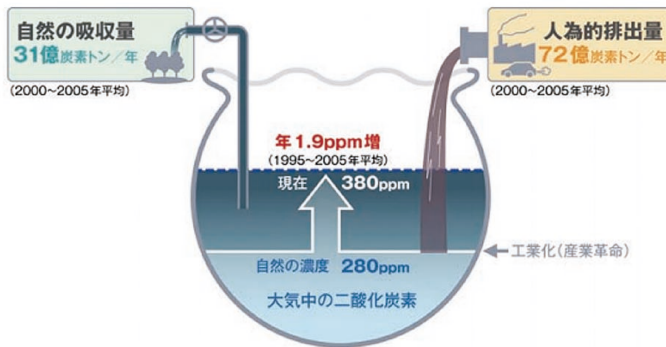
年々深刻な被害をもたらしている温暖化を防止するため、地球全体で二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）削減を図る仕組みが必要となっています。私達は日常生活や経済活動の中で、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスを排出しないよう、省エネなど様々な取り組みを行っています。ですが、こうした努力にも関わらず「排出量をゼロ」にすることは、難しいことも事実です。

こうした、どうしても排出されてしまうCO<sub>2</sub>排出に対し、**排出量に見合った分を他の場所での排出量の削減や吸収により、埋め合わせる取り組み**を、「カーボン・オフセット」と呼んでいます。



カーボン・オフセットの概念  
(カーボン・オフセットフォーラム配布パンフレットより)

## カーボン・オフセットはなぜ推進されているのか？



自然と人間のアンバランス  
(IPCC第4次評価報告書(2007)より国立環境研究所・環境省作成)

現在の地球では、**自然が吸収できるCO<sub>2</sub>の約2倍の排出量を人間が出している**といわれています。自然の吸収と人間の排出、このアンバランスを解消することが地球温暖化をストップさせる事につながります。自分たちがCO<sub>2</sub>の排出量を減らす努力をすることに加え、CO<sub>2</sub>の削減・吸収を行う別の活動を支援することで、より多くのCO<sub>2</sub>の排出削減・吸収を促すことができることから、カーボン・オフセットが推進されているのです。

## カーボン・オフセットを実践するには？



- 実際にカーボン・オフセットを行うためには、3つのステップがあります。
- ①まず、消費電力量やガソリンの消費量などから計算し、自分が排出しているCO<sub>2</sub>の量を知ること(見える化)
  - ②次に省エネ等によってCO<sub>2</sub>を減らす努力(削減努力)をすること
  - ③そして、自分では削減しきれないCO<sub>2</sub>の分は 埋め合わせ(オフセット)することです。
- このステップを経ることによって、自身の活動によるCO<sub>2</sub>の排出を減らすにはコストがかかることを知り、できるだけ排出しないライフスタイルや事業活動へ切り替えるきっかけとなります。

## 群馬県の取り組みは？

太陽光発電や風力・水力発電といった再生可能エネルギーの使用、エネルギー効率の良い機器の導入（CO<sub>2</sub>削減）、または植林や間伐等の森林管理（CO<sub>2</sub>吸収）により実現した温室効果ガス削減・吸収量を「オフセット・クレジット」と呼んでいます。これらは、現在運用されている各クレジット制度の中で、第三者機関による「検証」、認証委員会による「認証」を経て、市場での取引が可能になります。カーボン・オフセットは、この「オフセット・クレジット」を購入することによって行われます。

【クレジットを創る】

群馬県内で創られたクレジットとして、「日本製紙木材（株）群馬・須田貝社有林間伐促進プロジェクト（総吸収量1,084 t-CO<sub>2</sub>）」があります。利根川源流域の水源地涵養保安林を舞台に、群馬県庁、利根沼田森林組合の指導、協力のもとに実施された、地域の森林整備活動が評価されました。このクレジットを活用することは、**温暖化防止と共に地域の林業、首都圏で利用される水源保全への貢献につながります。**

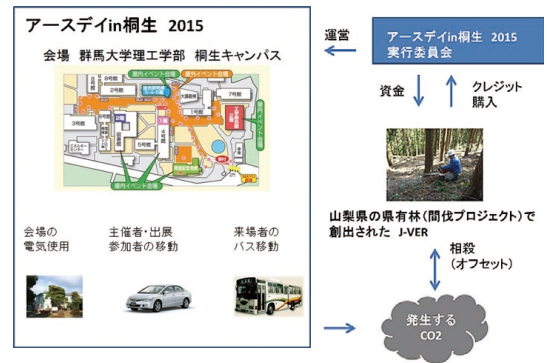
日本製紙木材(株) 須田貝社有林



所在地：群馬県利根郡  
みなかみ町  
面積：1,157ha  
水源涵養保安林  
樹種：スギ、カラマツ、  
広葉樹

【カーボン・オフセットを行う】

来年、桐生市で行われる「アースデイin桐生 2015」というエコイベントにおいて、**カーボン・オフセットの取り組みが行われます。**メイン会場となる群馬大学理工学部キャンパスの電気使用、主催者・出展者の移動、そして来場者が利用する市バスより排出されるCO<sub>2</sub>を、国内の森林事業によるクレジットを用い、カーボン・オフセットします。地元密着型のエコイベントであるアースデイでの取り組みを通じて、地球温暖化防止へ向け、地域の子供たちへの教育の提供、地域全体への普及、全国のアースデイを中心としたエコイベントへの展開への啓発を推進していきます。

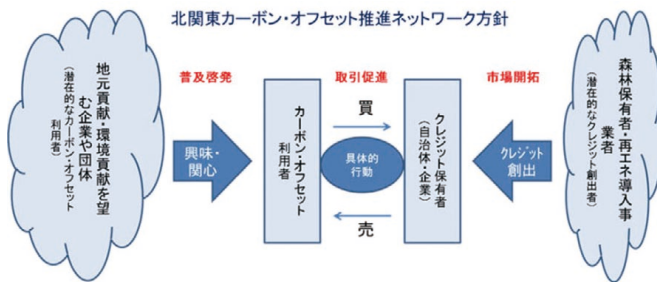


地元貢献・環境貢献に関心のある方へ

クレジット創出やカーボン・オフセットに関心のある方は、「北関東カーボン・オフセット推進ネットワーク」へお気軽にご相談ください。地球温暖化防止推進の流れを受け、北関東地域（群馬、栃木、茨城）の地方自治体、企業、NPO、そして大学などの学術機関が集まり、「地球温暖化防止」をキーワードに2014年10月に発足しています。産官学のネットワークにより地域のカーボン・オフセット取引を活性化させ、環境活動に関わる様々な取り組みを進展させるべく北

関東の皆様へ呼びかけを行っています。カーボン・オフセットへの興味・関心を持ってもらうと共に、地域の森林・再エネ利用事業者にクレジット創出を呼びかけ、アドバイスも行います。そして、「カーボン・オフセット希望者」と「クレジット創出者」を結びつけるため、マッチングを促進するための場として群馬県内でもイベントを開催していきますので、ぜひご参加ください。

Webサイトへのアクセスもお待ちしております。



|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| ・協議会運営の取りまとめ                     | マイクライメイトジャパン株式会社  |
| ・地域代表<br>・地域企業の連絡ハブ              | 特定非営利活動法人 北関東産官学研究会   |
| ・専門的知見を基に<br>推進ネットワークに助言         | 足利工業大学<br>群馬大学理工学部<br>筑波大学<br>茨城大学地球変動適応科学研究機関 (ICAS)             |
| ・温暖化防止や環境保全に貢献し、その活動を発信          | 日本製紙木材株式会社  |
| ・推進ネットワークに参加、カーボン・オフセットの活用について検討 | NPO法人エコロジーオンライン<br>アースデイin桐生実行委員会<br>他、地元企業、地元環境貢献NPO             |
| ・自治体等の視点から協議会活動に助言               | 群馬県<br>茨城県<br>群馬県桐生市<br>栃木県足利市<br>茨城県つくば市<br>群馬県地球温暖化防止活動推進センター 他 |
| ・地域に向けた協議会活動の広報                  | 各 県域地方新聞  |

【お問い合わせ先】  
北関東カーボン・オフセット推進ネットワーク  
HP <https://www.facebook.com/kitakanto.conet>  
事務局 マイクライメイトジャパン株式会社  
(担当:山口)  
電話:(03)6228-3616  
FAX:(03)6228-3388  
メール:carbonoffset@myclimate.jp

# GS事業者の横顔

## 角田建設工業株式会社



認定番号 211147  
住所 片品村大字須賀川7-1  
電話番号 0278-58-2028  
従業員数 23名  
事業内容 総合建設業（産業廃棄物収集  
運搬業許可1000043504）  
代表者 角田 恵子  
GSマネージャー 石井 千華  
GSサブマネージャー 星野 栄二  
GSサブマネージャー 小林 明司

### わが社の一押し

50年を超える年月、地元をしっかり根をおろし地域社会とともに歩んで参りました。昭和37年、角田商事有限会社として組織化される以前からも、材木伐採・運搬・採石・販売を手がけて参りました。こうした事業を営むことができたのも、豊かな自然に恵まれたからこそ！と思っております。地域社会に密着した地道で堅実な事業展開は今日でも変わらぬ角田グループ経営の核になっております。

### 現場からひとこと

主に営業圏は自然豊かな立地にあり、県北部の尾瀬国立公園の入り口周辺で公共工事を中心に行っています。環境GSを取得してからは、この自然をいつまでも後世に残し人類の共通の財産として何時までも保護を行う基盤として社員一同「出来ることはやる」を念頭に日々取り組んでおります。

環境保全を常に頭に置き業務を行えば必ず結果は、見えてくるのだと思います。小さい事からコツコツと。

## 共同技研化学株式会社



認定番号 221205  
住所 富岡市岡本1280  
電話番号 0274-70-2611  
従業員数 51名  
事業内容 接着テープの製造・販売  
代表者 濱野 尚吉  
GSマネージャー 松浦 宏次  
GSサブマネージャー 能宗 孝充

### わが社の一押し

弊社は 昭和54年(1979年)、粘着テープ製造と粘着加工を生業として始まり、家電断熱用、自動車内装用、建材用、電子機器用、医療用、他、と製造及び研究開発を続けてまいりました。今日、ポリマーの配合設計と多層膜化の基、高接着の反応テープ、有機ガラスシート、他に「柔らかくて硬く、剥がれと再接着」など可逆の挑戦をしております。その中でも、溶剤を使用しない「メークリゲル」、糊残りが少なく貼り合せたものの再利用がしやすい「分子勾配膜両面テープ」は幅広いニーズにお応えしております。

### 現場からひとこと

弊社では、空調設備電力消費の削減に取り組むために、設定温度の管理、夏場の工場内温度の低減に工夫を凝らしております。

また、工場内廃棄物の削減と管理の徹底を心がけ、日々環境に配慮したモノづくりと社会貢献に努めております。

## 北関東輸送株式会社



認定番号 231465  
住所 前橋市宮地町43  
電話番号 027-212-3300  
従業員数 161名  
事業内容 運送業  
代表者 代表取締役 沼田 栄子  
GSマネージャー 中山 優  
GSサブマネージャー 高山 康彦

### わが社の一押し

当社が環境GSの取り組みの中で特に力を入れていることは、トラックから排出される窒素酸化物(NOx)と粒子状物質(PM)の削減です。その取り組みの一環で平成19年度から全車両にデジタコを装着しました。デジタコは運行データが素早く解析できるため正確な運行状況を把握し、社員に適切な運転指導が行えます。省燃費運転を励行することにより、排出削減に大きな効果が出ました。

### 現場からひとこと

運送業が環境に配慮することは重要な責務と考えます。省燃費運転の推進は、安全運転の促進にもつながります。そして交通事故のない社会を構築することは運送業にとって最も重要な課題です。当社ではデジタコの活用と外部機関による省燃費運転の講習を定期的に開催するなどして、社員に環境と安全の意識向上を図っています。今後も社員の意識改革で環境保全に大きく貢献します。

## 三益半導体工業株式会社半導体事業部



認定番号 231469  
 住 所 高崎市保渡田町2174-1  
 電話番号 027-372-3993  
 従業員数 890名  
 事業内容 シリコンウェーハの製造、  
 再生ウェーハの加工  
 代表者 代表取締役社長 中澤 正幸  
 GSマネージャー 細谷 信明  
 GSサブマネージャー 籠谷 晋行

### わが社の一押し

当社は、創業以来50年にわたり半導体産業の素材分野を通じてエレクトロニクス社会の進展に貢献してきました。半導体産業の基礎を支える先端技術に深く関わりつつ事業を展開させ、もって社会に貢献し、社員の豊かな未来をはぐむことを目指しています。

これからも変化の激しい半導体業界において、特徴ある存在感を示しつつ柔軟かつ強靱に対応できる企業を構築していきます。

### 現場からひとこと

事業活動のあらゆる側面において、地球環境に配慮した継続的な改善を図ること。これが、当社の企業としての環境ポリシーです。これにそって、1991年にISO14001の認証を取得し、環境マネジメントシステムへの本格的な取り組みを開始しました。

エネルギー単位の削減・CO<sub>2</sub>排出の問題に積極的に取り組んでおり、高効率な設備の導入、灯油から天然ガスへの燃料転換を行うなど環境への負荷を減らす努力を続けています。

## 株式会社ファインファーマシー



認定番号 231616  
 住 所 館林市松原2-16-21  
 電話番号 0276-72-4193  
 従業員数 64名  
 事業内容 調剤薬局  
 代表者 代表取締役 池田 明  
 GSマネージャー 出村 博史  
 GSサブマネージャー 服部 友和  
 GSサブマネージャー 土廣 篤史

### わが社の一押し

当社は群馬県を中心に調剤薬局、ドラッグストア、ゴルフショップを展開しております。

六つの基本理念「積極性・主体性・責任感・信用・信頼・感謝」のもと、常に患者様・お客様・相手の立場となり考え実行する！今、患者様・お客様が最も望むことはなにか？単にモノを提供するのではなく、いかに患者様・お客様に知識・情報をご提供することができるか、ご納得いただけるアフターケアを施すことができるか。これが今後の企業成長のキーワードであると考えます。

### 現場からひとこと

当社では、社員一人一人の意識改革が地球温暖化防止につながると考え、従業員への環境保全に関する教育及び啓蒙活動を行っております。また、具体的な取り組みとして、ハイブリッドカーの導入、LED照明の前倒し導入などを行っております。

これからも引き続き定期的に環境教育を行い、一人一人がより環境に配慮した行動をとり、向上していくように取り組んでまいります。

## 株式会社オージーシステム



認定番号 241859  
 住 所 桐生市相生町2-316-1  
 電話番号 0277-70-6063  
 従業員数 13名(内、常勤者8名)  
 事業内容 消防設備、電気工事業  
 代表者 代表取締役 関口 信吾  
 GSマネージャー 関口 信吾  
 GSサブマネージャー 澤田 正人  
 GSサブマネージャー 佐藤 亨

### わが社の一押し

弊社は1990年に創業以来、社会に貢献すべく放火監視センサー「ピコアイ」の製造・販売を手掛けてきました。1999年に現在の事業所を桐生市に新設し「消防・行政をささえて社会に貢献」をスローガンに消防設備・セキュリティ機器の施工、保守点検を軸に事業を展開しております。

### 現場からひとこと

環境GS事業者の認定をいただいてからまだ3年目ですが、多くの取引先様も認定されているので驚いており、環境意識の高さを感じております。

常勤者8名程度の規模で、なかなか大きな成果を出すことは難しいところもありますが、「冷・暖房の温度管理」や「外回り時の車両の乗り合わせ」などを常に意識して行動しております。

環境意識の改善を図ることにより、他の仕事面でも意識に変化が出るよう期待しております。

# ワンポイント アドバイス ONE POINT ADVICE

## 環境GS 推進員



今回は、  
本嶋 茂雄さん  
からのアドバイスです。

## 環境活動でみんなで盛り上がりましょう！

会社みなさんに、環境への関心をもってもらう、あるいは、ごみ拾い等の環境活動を継続して実施していくために、ご担当者の方は、苦労されていると思います。

そこで今回は、私なりに取り組んでいる事例をご紹介します。

### I. 社内掲示板の活用

- ①環境ボランティアをした時の様子をスライドショー的に貼り付けた新聞をつくり掲示しています。
- ②キャッチコピーを募集して、活用する。
  - ・ EVERYDAY ECO-DAYがキャッチコピーとなり、名刺やホームページ等にも表示しています。
- ③環境関連の資格者（自然観察指導員の腕章など）を掲示しています。
- ④環境イベントでもらった賞状などを掲示しています。



### II. 市町村の発行する広報の活用

- ①環境ボランティアの様子の記事や写真を、広報に載せてもらいます。
- ②ペットボトルのフタ等（※自治体に確認）を寄付し、広報の寄付のコーナーに載せてもらいます。



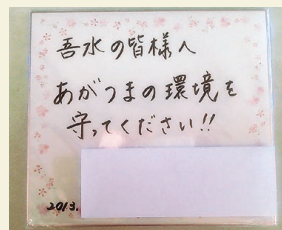
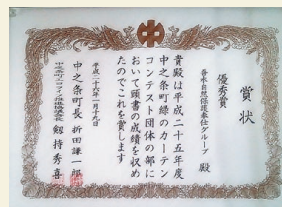
### III. インターネットの活用

- ・ 環境ボランティアの様子をスライドショーにしてyoutubeにアップして、自社のホームページに、貼り付け、みんなの環境活動に取り組んでいる勇姿が見られるようにしています。一般の方も見ていただき、好評です。



以上の他、缶バッチをつくるマシンを用意して、環境等各種イベントに出展して子どもたちに喜んでもらったり、地元の有名な方に色紙に励ましの言葉を書いてもらったり、公園の花壇づくり等、楽しい事をするサークルみたいな感じで、コミュニケーションが広がるように心がけています。

自分たちの環境活動を、内外に正確に伝えることにより、自分たちの組織が、真摯に行っている環境への取り組みを、地域社会に理解してもらおうと同時に休日などを使ってボランティアしてくれる仲間の誇りと心の支えになってくれれば、自ずとCO2削減、節電、節水といった日々の環境活動に必要な継続する力となってくれるものと思います。



## 補助金を使って設備更新・導入を～補助金の活用方法～その7

### はじめに

「補助金を使って設備更新・導入を～補助金の活用方法～その7」をお届けします。今回のテーマは「H27年度の補助金の概要」です。経済産業省からH27年度予算の概算要求が公表されましたので、省エネ等の設備更新に利用できる補助金についてお知らせします。尚、本情報は「概算要求」に基づくため、国会で予算審議を経た上で決定され、本記載内容と変更がある可能性をご了承下さい。各補助金は詳細が公表された後（来年の春以降）に、執行団体HPよりご確認下さい。

### 設備の導入等に活用できる補助金（平成27年度経済産業省概算要求）

| 補助金名称<br>(H27概算要求額←H26年度実績)                     | 内容   |
|---|--|
| エネルギー使用合理化事業者<br>支援補助金<br>(750億円←410億円)         | 工場・事業場等における省エネ設備・システムへの入れ替えや製造プロセスの改善等の改修により省エネや電力ピーク対策を行う際に必要となる費用を補助。H27年度は工場間で一体となった省エネも支援対象とする。<br>H26年度の執行団体はSII（環境共創イニシアチブ）、1次募集は6/9～7/1、2次募集は9/11～11/10に実施。 |
| 省エネルギー対策導入促進<br>事業費補助金<br>(10.5億円←5.5億円)        | 中小・中堅事業者等に対し、省エネ・節電ポテンシャルの導出等の診断事業を実施する。<br>H26年度の執行団体は省エネルギーセンターで通年実施。  |
| エネルギー使用合理化特定設備等<br>導入促進事業費補助金<br>(35億円←24億円)    | 省エネ設備の導入等を促進するために民間の金融機関から融資を受ける事業者に対し、利子補給を行う。金融機関が認定を受け、H26年度は県内の金融機関では群馬銀行が認定されている。   |
| 省エネルギー型建設機械<br>導入補助金<br>(19.5億円←18億円)           | 環境性能に優れた省エネ型建設機械の購入に対し補助を行う。<br>H26年度の執行団体は一財）製造科学技術センター、公募期間は6/6～で予算がなくなり次第終了。対象はハイブリッドまたは電動式の油圧ショベル、ブルドーザー、ホイールローダーの3機種。   |
| 住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導<br>入促進事業費補助金<br>(150億円←76億円) | ZEH/ZEB(ネット・ゼロ・エネルギーハウス/ビル：年間の1次エネルギー消費量がネットでゼロになる住宅/ビル)の導入支援と既設住宅への高性能断熱材や窓等の導入を支援する。   |
| クリーンエネルギー自動車等導入<br>促進対策費補助金<br>(300億円←300億円)    | EV（電気自動車）・PHV(プラグインハイブリッド自動車)・クリーンディーゼル自動車・燃料電池自動車等の次世代自動車の導入を補助。  |

### その他（現在活用できる補助金）

|          |   |
|----------|---|
| グリーン投資減税 | 対象期間がH28.3.31まで延長されています。補助金や交付金で購入した設備は対象となりませんので注意して下さい。<br>詳細は資源エネルギー ( <a href="http://www.enecho.meti.go.jp/greensite/green/">http://www.enecho.meti.go.jp/greensite/green/</a> ) 又は関東経済産業局省エネルギー対策課(048-600-0364)、事業所管轄の税務署にお問い合わせを。 |
|----------|---|

### 補助金の相談窓口

補助金の相談は群馬県地球温暖化防止活動推進センター(TEL 027-237-1103)まで。事例に精通したGS推進員を派遣しますので、お気軽にご相談下さい。また下記サイトでは最新の補助金情報を掲載していますので、参考にして下さい。

省エネポータルサイト「エネポ」<http://www.ene-po.com/>  
未来の企業応援サイト「ミラサポ」<https://www.mirasapo.jp/>

文責：GS推進員 橋爪秀一



# GSインフォメーション

群馬県からのお知らせ

## ○環境GSロゴマークをご活用下さい

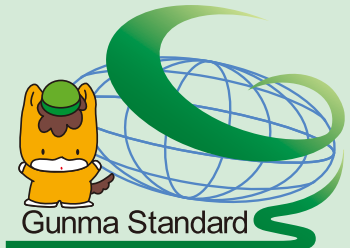
群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」が「ゆるキャラ (R) グランプリ2014」で1位を獲得することができました。皆様の応援、ありがとうございました。

環境GSでは、ぐんまちゃんのイラストが入ったロゴマークがあります。会社案内、名刺等に添付できますので、ぜひご活用下さい。

### 【使用手続】

下記ホームページアドレスに掲載されている申請書を県庁環境政策課までご提出いただきますと、e-メールでデータをお送りいたします。

◆HPアドレス：<http://www.pref.gunma.jp/04/e0110028.html>



【環境GSロゴマーク】

## ○ぐんまの環境新技術・新製品

群馬県では、県内中小企業等の振興と環境保全の推進を目的として、平成13年度分から毎年度1回「ぐんまの環境新技術・新製品」を募集しています。

この事業は、県内中小企業等が開発した循環型社会づくりや環境保全に資する技術及び製品に関する情報を収集、広報するとともに、県の公共工事においても率先して利用することで、その普及促進を図ろうとするものです。

### 【募集要項】

#### ○募集の対象

##### (1) 事業者

- ・県内に本社がある中小企業等
- ・共同開発のために設立し、上記に該当する企業等が応募技術・製品の実質的な開発者として参画している団体等

##### (2) 技術・製品

- ・リサイクル原材料が使用された技術・製品（例：再生プラスチック製品など）
- ・製品を廃棄する際、従来の製品に比較して環境負荷の低減が顕著な製品（例：生分解性プラスチック製品など）
- ・技術・製品を利用することにより、従来と比較して環境負荷の低減が顕著なもの（例：省エネ製品など）
- ・技術・製品を利用することにより、自然環境・生態系の保全に寄与するもの（例：緑化製品など）
- ・その他、環境負荷の低減に顕著な効果のあるもの

#### ○募集の期間

平成26年10月27日（月）から平成26年12月26日（金）まで（必着）

#### ○応募方法

所定の応募票に必要事項を記入し、写真等を添付のうえ、県庁環境政策課へ提出してください。

##### (3) その他

審査により分類された環境新技術・新製品等は県ホームページで情報提供いたします。また、新規性・先進性があり、環境配慮の顕著なものについては、県公共事業において予算の範囲内で率先して利用します。

詳細は、下記ホームページアドレスからご確認ください。

◆HPアドレス：<http://www.pref.gunma.jp/04/e0110030.html>（応募票もこちらからダウンロードできます。）

## ○出前なんでも講座をご利用ください

皆さんが選んだテーマについて、講師として県職員が皆さんの地域や団体にお伺いし、分かりやすく説明する「出前なんでも講座」を実施しています。「産業廃棄物対策について」や「リスクコミュニケーションについて」など事業者に関連する環境テーマから、「職場ストレスとストレス対処法」「仕事と家庭の両立支援」など社員の皆様の生活に関わるテーマなどもございます。

講師の派遣は無料です。（会場経費等は主催者側の負担となります。）ぜひ社員研修等にご利用ください。

◆HPアドレス：<http://www.pref.gunma.jp/07/b2111296.html>

### 【平成25年度 人気テーマベスト5】

| 順位 | テーマ               |
|----|-------------------|
| 1位 | 薬物乱用防止について        |
| 2位 | 睡眠環境を調える          |
| 3位 | 「つづけましょ！食育推進について」 |
| 4位 | 防犯について            |
| 5位 | うっかりミスはなぜ起こる      |

編集・発行

群馬県環境政策課 〒371-8570 前橋市大手町1-1-1

TEL：027-226-2817 FAX：027-243-7702

群馬県地球温暖化防止活動推進センター 〒371-0016 前橋市城東町2-3-8

TEL：027-237-1103 FAX：027-232-1104



環境に優しい「大豆油インク」を使用しています